

大学生のための資格業ガイダンス報告 名古屋大学

日 時：令和4年11月17日（木）午後5時から7時まで
会 場：名古屋大学東山キャンパス

令和4年11月17日（木）現役大学生を対象とした各種資格業の説明会として、名古屋自由業団体連絡協議会（以下、自由業団体という）による「大学生のための資格業ガイダンス」が名古屋大学東山キャンパスにおいて開催されました。



自由業団体による事業はコロナウイルス感染症の影響で、近年はすべて中止となっていました。この会務通信に自由業団体の事業報告を掲載するのも久しぶりなのではないかと思えます。自由業団体は各士業10団体で構成されているので、事業をやるとなると人数が多くなってしまい、なかなか開催に踏み切れないところがありました。今回は名古屋大学の協力もあり、久しぶりに事業が開催できたことを嬉しく思います。



さて、「大学生のための資格業ガイダンス」は例年、名古屋大学、愛知大学、名城大学、愛知学院大学の4校で開催している事業です。学生たちがどのような資格があるのか説明を聞きに来てくれます。今回参加してくれた学生は全体で13名でした。これはかなり少ない人数でしたが、コロナウイルス感染症の影響もあるのか、夕方5時からの開催が影響したのか、そもそも資格に興味がないのか…また反省点を協議することになると思います。しかし個人的にはまず開催できたことが大事であり、参加してくれた13名の学生に各資格業の担当が一生懸命に説明していましたので、少しでも資格業に興味を持ってくれたのであれば、大成功だったのではないかと思います。ちなみに土地家屋調査士のブースには4名の学生が来てくれました。

土地家屋調査士ブースに来てくれた4名の学生には、広報部の濱部員と2人で土地家屋調査士はどのような資格かを説明しました。学生の中には土地家屋調査士の資格があることを知っている学生もいましたが、仕事内容まで知っている学生はいませんでした。学生は資格の取得方法や取得までの年数はどの位なのかなど、積極的に質問をしてくれましたが、意外と仕事内容の質問より、どうしたら取得できるか、どこで勉強するのかなどの質問が多かったことです。印象的だっ

たのは、前職はなんですか？との質問がありました。今の時代、転職は当たり前と聞きますし、私自身も何度か転職をして土地家屋調査士になりました。土地家屋調査士は外仕事もあり他の士業とは少し異質の部分があると思います。学生たちもこれから、いろいろな社会経験を積んで、転職を考える時があれば、今日の話を少しでも思い出して土地家屋調査士になってくれることを期待しています。

(広報副部長 中島健太)